

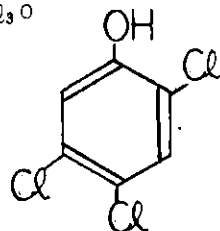
2, 4, 5-トリクロロフェノールの分解度

試験成績報告書

- 試験期間 昭和53年5月8日～昭和53年8月21日
- 試料名 2,4,5-トリクロロフェノール (試料名 X-367)

分子式 $C_6H_3Cl_3O$

構造式



性状

外観 白色粉末 溶解度 有機溶剤に易溶
融点 $67^{\circ}C$
沸点 $253^{\circ}C$

(XXXXXXXXXX 使用)

3. 試験方法及び条件

環保業第5号 } 微生物等による化学物質の分解度
 薬発第615号 } 試験による
 49基局第392号 }

試料濃度 100ppm 汚泥濃度 30ppm

試験期間 2週間

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による

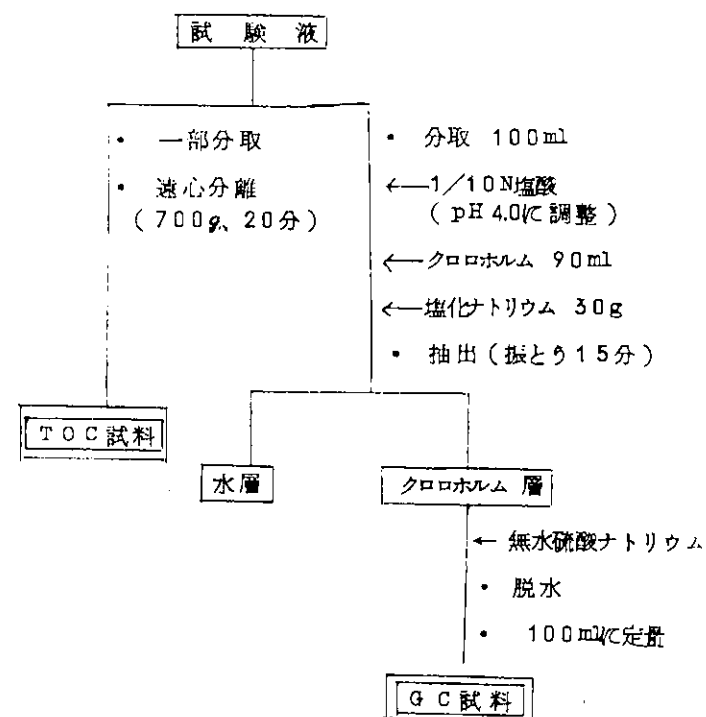
3.3 生分解試験後の直接定量法

(a) 使用分析機器

全有機炭素分析計

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

全有機炭素分析計 (T O C 計)

流速 T C 回路 200ml/min

温度 T C 炉 900℃

ガスクロマトグラフ (G C) 検出器 F I D

キャリアガス N₂

充てん剤 20%PEG20M/クロモソルブWAW+2%H₃PO₄

ガラスカラム 2mmφ×1m

カラム温度 165℃

4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	0	1	—
T O C 計による結果	※ (一)	2	1
G C による結果	※ (一)	3	2

※ 負の直を得たので (一) とした

5. 備 考

試料の採取

試料 30mg を精秤し、試験に供した。

クーロメーターへの状況

	状 況	pH
仕込時	2～3時間、攪拌し試料が溶解したのち pH調整し (pH6.4→pH7.0) 汚泥を接種した。	水系 5.6 汚泥系 7.0
途 中	—	—
終了時	—	水系 5.6 汚泥系 6.9

以 上